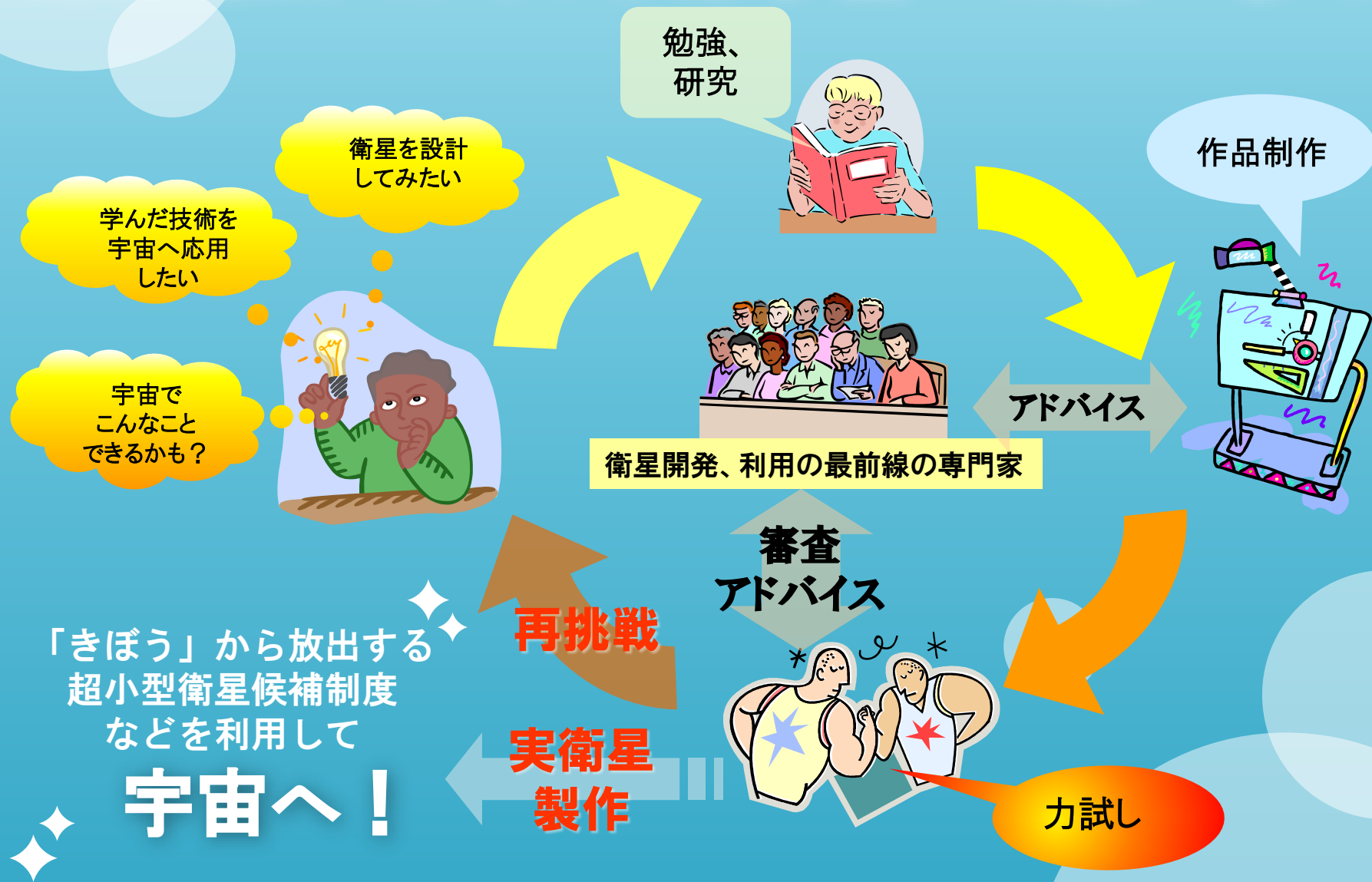


# 1分で分かる 衛星設計コンテスト

# 衛星設計コンテストとは

- 高校生・専門学校生・高等専門学校生・大学生・大学院生を対象とした、コンテスト形式の教育プログラムです。
- 応募区分は**設計の部**、**アイデアの部**、**ジュニアの部**の3部門です。
- 着想点、創意工夫、基礎的な技術知識、将来性等々からすぐれた作品を選考（一次審査/書類）します。
- 審査員は、すべての作品に対して、学生の皆さんの意欲継続・将来へのステップアップに向けたアドバイスをを行い、再挑戦も期待しています。
- 一次審査を通過した作品については、学生の皆さんは最終審査会においてプレゼンテーションを行います。その結果により優秀作品を表彰します。

# 衛星設計コンテストは宇宙への第一歩！



# 衛星設計コンテストのここがすごい！

## コンテストを運営するのは…

- 衛星メーカー・研究開発機関の最前線の技術者
- 大学宇宙教育の最前線の教育者
- 宇宙教育支援組織の代表者

最強の  
プロ集団！



- 応募者の作品を大事に育てる
- 応募作品に対する丁寧なアドバイス
- コンテスト作品の打上げを目指して努力

# 衛星設計コンテストの歴史と主な出来事

**1993**

国際宇宙年(ISY) 第1回衛星設計コンテスト開催  
鯨生態観測衛星「観太くん」電子情報通信学会賞受賞

**2002**

鯨生態系観測衛星「観太くん」、H-IIAロケット4号機で打上げ

**2003**

東京大学XI-IV、東京工業大学 CUTE-I 打上げ

(第13回大会)高校生を対象にしたジュニアの部新設

**2005**

東京大学XI-V、東京工業大学CUTE-1.7+APD打上げ

**2006**

日本大学SEED打上げ(ロケット失敗)

**2007**

東京工業大学CUTE-1.7+APD II、日本大学SEED-II打上げ

**2009**

東京大学(PRISM)、東北大学(SPRITE-SAT)、都立産業高等専門学校(KKS-1)、香川大学(STARS)

H-IIAロケット15号機相乗り衛星打上げ

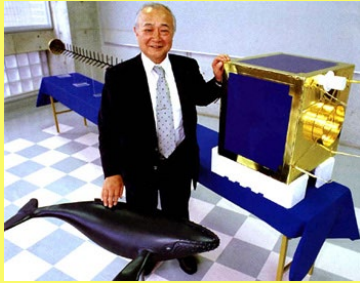
・  
・  
・

**2014**

その後も九州工業大学「鳳龍四号」を始めとし、信州大学「ぎんれい」、大阪府立大学「OPUSAT」、日本大学「SPROUT」、名古屋大学「ChubuSat-2」、など、これまでの応募校が、H-IIAロケット相乗り衛星として打上げ

# 主な受賞作品

第1回(1993年)  
電子情報通信学会賞



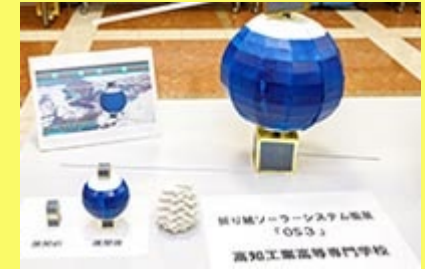
千葉工業大学  
鯨生態観測用小型衛星システム

第21回 (2013年)  
設計大賞



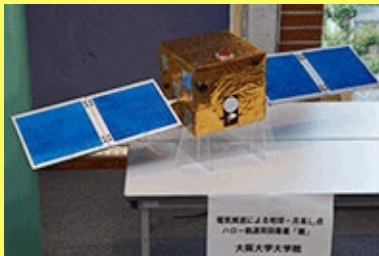
National Cheng Kung University  
Atmosphere-Ionosphere  
Coupling Explorer(AICE)

第25回 (2017年)  
アイデア大賞



高知工業高等専門学校  
折り紙ソーラーシステム衛星「OS3」

第26回 (2018年)  
設計大賞



大阪大学大学院／大阪大学  
地球-月系L2点ハロー軌道周回衛星  
「颯」

第27回 (2019年)  
文部科学大臣賞/アイデア大賞



東京大学大学院  
宇宙硬X線偏光撮像の開拓者cipher

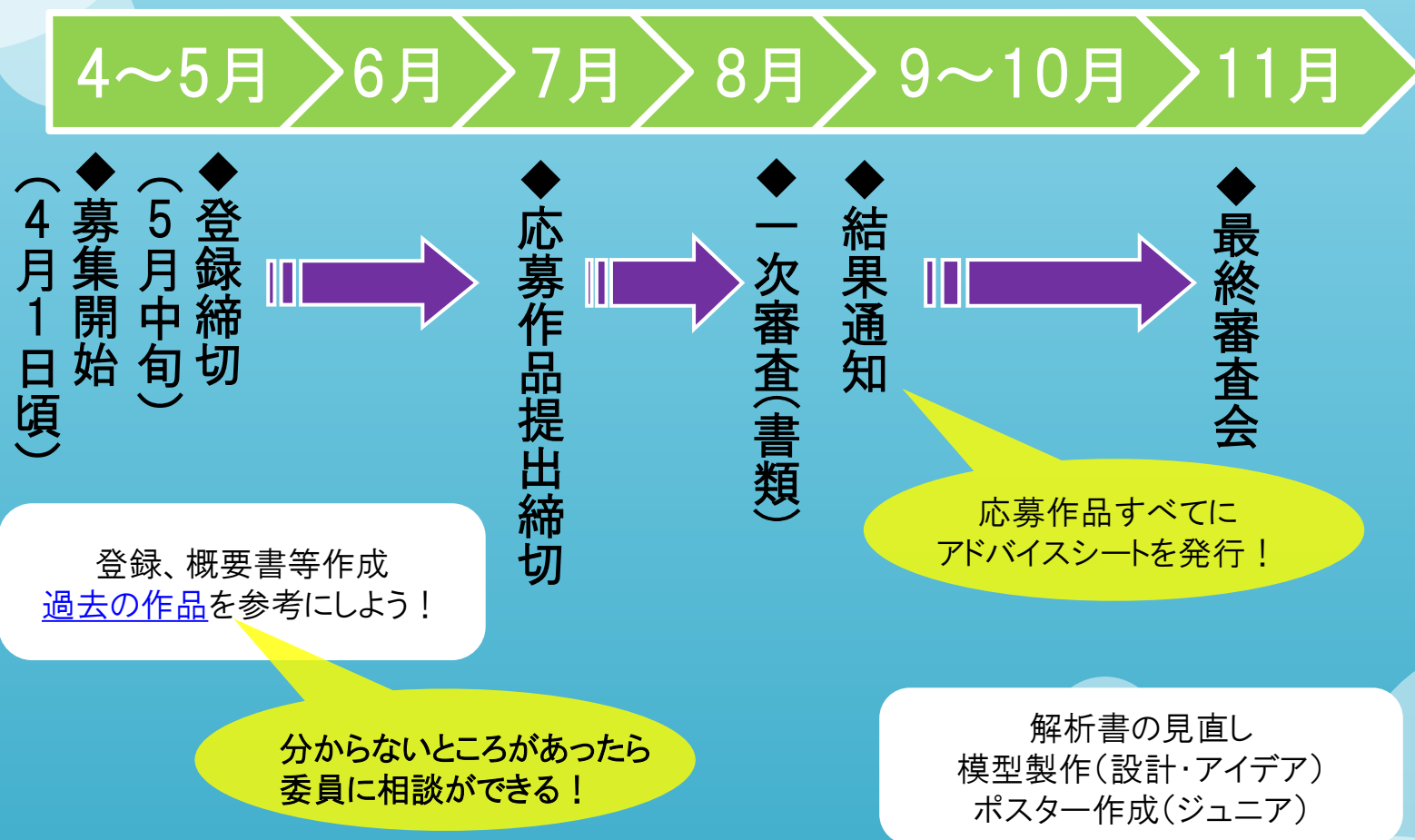
第30回 (2022年)  
文部科学大臣賞／設計大賞



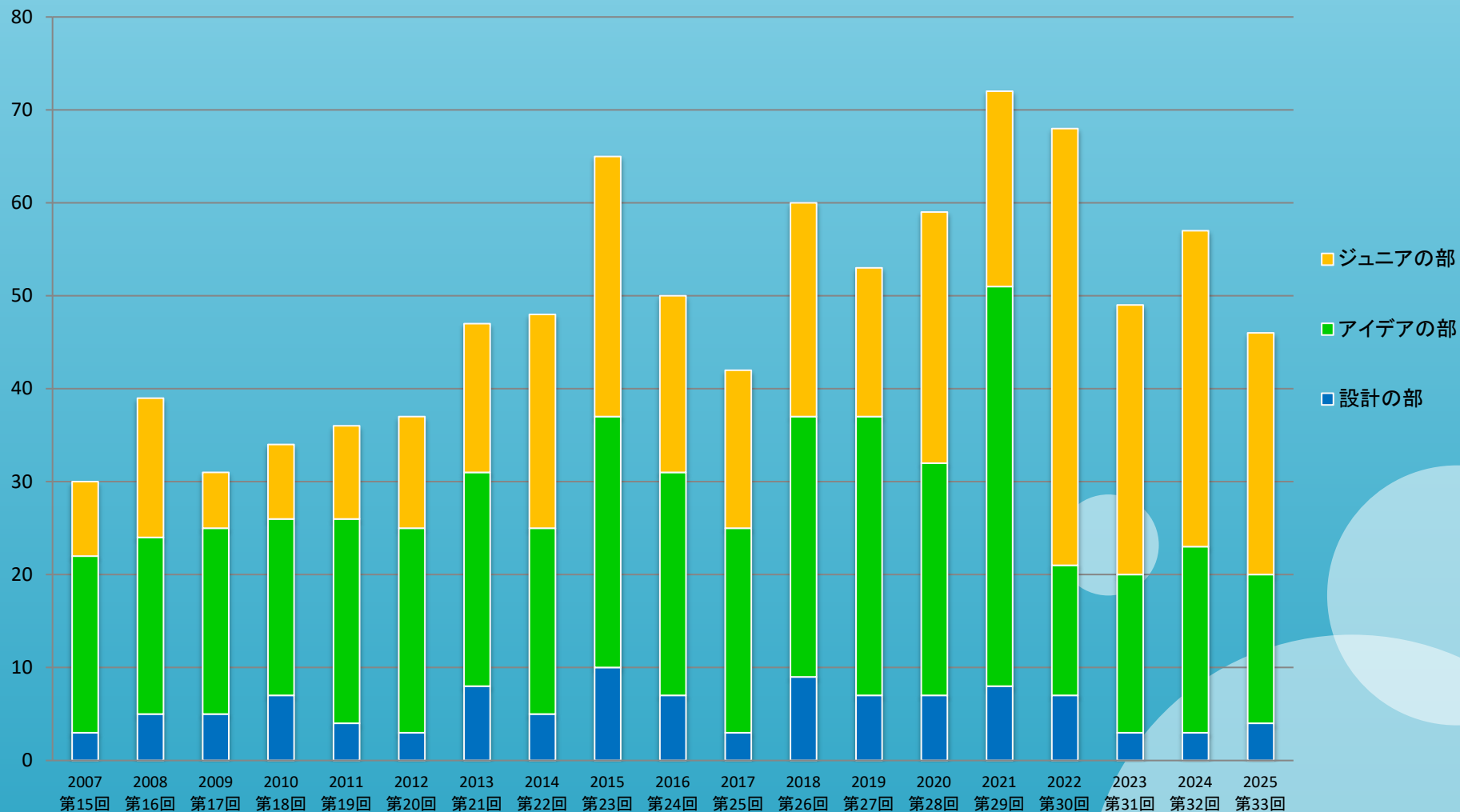
早稲田大学大学院、青山学院大学大学院、  
総合研究大学院大学、東京大学大学院、  
横浜国立大学大学院、京都大学大学院  
水資源探査のための月周回衛星「Izumi」

更に詳しく過去の受賞作品について[見る](#)↑

# 応募から審査会までの流れ



# 近年の応募数の推移





# さいごに

皆さんの参加を実行委員、審査委員、  
企画委員一同、お待ちしております。

ご不明な点はメールにて事務局まで  
気軽にお問い合わせ下さい。

事務局<[satconjimu@jsforum.or.jp](mailto:satconjimu@jsforum.or.jp)>

# 主催・運営

主 催：

(一社) 日本機械学会、(一社) 日本航空宇宙学会  
(一社) 電子情報通信学会、地球電磁気・地球惑星圏学会  
(公社) 日本天文学会、宇宙航空研究開発機構  
(公財) 宇宙科学振興会、(一財) 日本宇宙フォーラム、  
日本ロケット協会

後 援：

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局  
文部科学省、経済産業省 (予定)

協 賛：

株式会社テクノソルバ、株式会社BCC、株式会社放送衛星システム、  
飛鳥電気株式会社、LSAS Tec株式会社、株式会社羽生田鉄工所、  
多摩川精機株式会社、HIREC株式会社、住友重機械工業株式会社、  
株式会社エイ・イー・エス、アルテアエンジニアリング株式会社  
(予定)

特別協力：

情報通信研究機構、三菱電機株式会社、日本電気株式会社、  
株式会社ElevationSpace

協 力：

大正製薬株式会社

運 営：

衛星設計コンテスト実行委員会